

学校、幼稚園、認定こども園、保育所で予防すべき感染症の解説：抜粋表

感染症名	主な潜伏期間	主な感染経路	登校（園）基準
急性灰白髄炎（ポリオ）	7-21 日	経口感染	急性期の症状が治癒後
ジフテリア	2-7 日	飛沫感染	治癒後
重症急性呼吸器症候群	2-10 日	飛沫感染	治癒後
中東呼吸器症候群	2-14 日	飛沫感染、接触感染	治癒後
特定鳥インフルエンザ	2-8 日	飛沫感染	治癒後
新型コロナウイルス感染症	オミクロン株では2-3 日	飛沫感染、接触感染	管轄保健所が判断。
インフルエンザ	1-4 日	飛沫感染、接触感染	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過した後。幼児においては、発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過した後。
百日咳	7-10 日	飛沫感染	特有な咳が消失するまで、または 5 日間の適正な抗菌薬による治療が終了した後
麻疹	8-12 日	空気感染、飛沫感染、接触感染	解熱後 3 日経過した後
流行性耳下腺炎	16-18 日	飛沫感染、接触感染	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫張が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好となった後。
風疹	16-18 日	飛沫感染、接触感染、母子感染	発疹の消失後
水痘	14-16 日	空気感染、飛沫感染、接触感染、母子感染	すべての発疹が痂皮化した後
咽頭結膜熱	2-14 日	接触感染、飛沫感染	主要症状が消失して 2 日経過後
結核	2 年以内	空気感染	感染のおそれがないと認められた後
髄膜炎菌性髄膜炎	4 日以内	飛沫感染	感染のおそれがないと認められた後
コレラ	1-3 日	経口感染	治癒後
細菌性赤痢	1-3 日	経口感染	治癒後
腸管出血性大腸菌感染症	10 時間-6 日	経口感染	感染のおそれがないと認められた後
腸チフス、パラチフス	7-14 日	経口感染	治癒後
流行性角結膜炎	2-14 日	接触感染	感染のおそれがないと認められた後
急性出血性結膜炎	1-3 日	接触感染	感染のおそれがないと認められた後
溶連菌感染症	2-5 日	飛沫感染	適切な抗菌薬による治療開始後 24 時間以降
A 型肝炎	15-50 日	経口感染	肝機能が正常化した後
B 型肝炎	45-160 日	血液・体液感染、母子感染	急性肝炎の極期を過ぎてから
C 型肝炎	6-7 週	血液・体液感染、母子感染	急性肝炎の極期を過ぎてから
手足口病	3-6 日	経口感染、飛沫感染	症状が回復した後
ヘルパンギーナ	3-6 日	経口感染、飛沫感染	症状が回復した後
無菌性髄膜炎（エンテロウイルスによる）	3-6 日	経口感染、飛沫感染	症状が回復した後
伝染性紅斑（りんご病）	4-14 日	飛沫感染、母子感染	症状が回復した後
ロタウイルス感染症	1-2 日	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
ノロウイルス感染症	12-48 時間	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
サルモネラ感染症	12-36 時間	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後

感染症名	主な潜伏期間	主な感染経路	登校（園）基準
カンピロバクター感染症	2-5 日	経口感染	下痢、嘔吐が消失した後
肺炎マイコプラズマ感染症	2-3 週	飛沫感染	症状が回復した後
肺炎クラミジア感染症	平均 21 日	飛沫感染	症状が回復した後
インフルエンザ菌 b 型感染症	不明	飛沫感染	症状が回復した後
肺炎球菌感染症	1-3 日	飛沫感染	症状が回復した後
RS ウイルス感染症	4-6 日	接触感染、飛沫感染	症状が回復した後
ヒトメタニューモウイルス感染症	3-5 日	接触感染、飛沫感染	症状が回復した後
ライノウイルス感染症	2-3 日	接触感染、飛沫感染	症状が回復した後
パラインフルエンザウイルス感染症	2-6 日	接触感染、飛沫感染	症状が回復した後
エンテロウイルス D68 感染症	3-6 日	接触感染、飛沫感染	症状が回復した後
EB ウイルス感染症	30-50 日	接触感染	症状が回復した後
サイトメガロウイルス感染症	不明	接触感染、母子感染	症状が回復した後
単純ヘルペスウイルス感染症	2 日-2 週	接触感染、母子感染	歯肉口内炎のみであればマスクをして可
带状疱疹	不定	接触感染	病変部が被覆されていれば登校して可。ただし水痘を発症する可能性が高い子どもの多い幼稚園、保育所ではかさぶたになるまで登園は控える。
日本脳炎	6-16 日	節足動物感染	症状が回復した後
突発性発疹	9-10 日	接触感染	症状が回復した後
ボツリヌス症	12-48 時間	経口感染	症状が回復した後
ネコひっかき病	皮膚症状まで 7-12 日	動物媒介感染	症状が回復した後
破傷風	3-21 日	泥や土を介しての感染	症状が回復した後
デング熱	蚊に刺されて 3-14 日	節足動物感染	症状が回復した後
ジカウイルス感染症	3-12 日	節足動物感染、母子感染	症状が回復した後
重症熱性血小板減少症候群	6-13 日	節足動物感染	症状が回復した後
アタマジラミ症	孵化まで 10-14 日	接触感染	制限はない
伝染性軟属腫（水いぼ）	2-7 週	接触感染	制限はない
伝染性膿痂疹（とびひ）	2-10 日	接触感染	制限はない
疥癬	4-6 週	接触感染	治療開始後
蟻虫症	1-2 か月かそれ以上	経口感染	制限はない
ヒトパピローマウイルス感染症	3 か月-数年	接触感染（性感染）、母子感染	制限はない
ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型感染症	数年-40 年以上	血液・体液感染、母子感染	制限はない
ヒト免疫不全ウイルス感染症	母子感染では 12-18 か月、AIDS 発症までは 5 年以上	血液・体液感染、母子感染	制限はない